

「間伐・間伐材利用コンクール」応募申込書

～「市民参加の森林づくり」部門～

受付番号

ふりがな	とまとう・なごみのもりうんえいきょうぎかい
氏名 (会社、団体名等)	苫東・和みの森運営協議会
住所	〒053-0816 苫小牧市日吉町4丁目1-17 いぶり自然学校内 TEL (0144) 73-2565 FAX (0144) 73-2565

事項	活動の状況等				
活動を始めた動機・きっかけ	平成19年に全国植樹祭が行われた跡地を「苫東・和みの森」と名付け、地元市民や森づくりボランティアが中心となり、森を管理する活動団体を設立。北海道的里山の復活という目標を達成するため「森のコミュニティセンター」作りを進め、幼児や高齢者、車いすユーザーなど様々な方が森づくりに関わることが出来るような機会と場を提供している。				
活動内容	「和みの森×銭湯ありがとうチケットプロジェクト」を運用。育樹活動で生み出される、市場での流通が難しい「搬出枯損木」「枝条」を資源と考え、参加者に薪にして頂く。苫小牧市内で薪ボイラーを使用している銭湯にその薪を提供し、参加者は銭湯から「ありがとうチケット」を頂くという仕組みを構築している。これにより参加者はチケットを利用し、自分で作った薪で炊いた湯で汗を流し、銭湯は燃料を無料で確保出来る。このように地域住民が一丸となり地産地消・循環型エネルギーの育樹システムを構築し持続的な森づくりを目指している。				
平成25年度活動計画	これまでの活動の成果と課題をまとめ、今後他市町村や、より多くの銭湯に参画してもらうためのパンフレットを作成し、近隣市町村の銭湯をまわり、説明と理解を得る。また、「市民による森林管理」を目指し、安全に配慮できるボランティア指導者育成を促す。				
実行体制・安全対策等	活動する際には、和みの森運営協議会事務局に活動届・揚煙届を提出。事務局と共に下見を行い、現場に危険箇所が無い確認、万一危険箇所があった場合には危険回避方法を検討。その他、緊急連絡票や応急処置マニュアルを作成。活動時の救急セットや通信手段を確保して対応。				
実績	除間伐	年度	実施面積	実施回数	参加人数
		活動開始(平成21年度)	5ha	5回	253名
		平成22年度	5ha	11回	879名
		平成23年度	5ha	11回	582名
	平成24年度	7ha	11回	1290名	
その他	「月に一度は森づくり」の活動の中で、車いすユーザーが安心して森に入ることが出来る木道づくりや、指導者養成講座にて、安全な道具の使用方法を参加した市民に伝えている。その他「子ども森づくりキャンプ」や小中学生の体験学習の一環として子どもたちと共に森のお手入れを行っている。さらに、除伐材を利用した「グリーンウッドワーク」、椅子づくりなど、参加者が楽しみながら森と関わる事が出来る森づくりを進めている。				
他団体や地域との連携	株式会社苫東（フィールド提供、立地企業への周知） 北海道水産林業部森林活用課（フィールド提供、森林ボランティアへの周知、各種備品借用） 苫小牧市都市建設部緑地公園課（広報、周知）				
写真					

※このままパネルに加工し展示しますので、1枚におさめて下さい。